

三九

戰鬥業務詳報 (昭和二十年一月二十二日空襲時)

獨立混成第四十四旅團司令部  
陸軍々医大尉 賀來 正

一 戰鬥概況

1. 一月二十二日六五〇頃ヨリ二二〇頃ニ到ル間敵機ハ数機編隊  
ヲ以テ主トシテ北中飛行場並ニ東海岸泡瀨方面ヲ銃爆高  
レタルモノノ為ニ依ル被害ヲ認メズ

2. 前防衛地区國頭郡本部町渡久地港ニ於テ二十二日〇一〇頃ヨリ  
貨物船若山丸ニ輸送貨物搭載作業ヲ實施中〇六三〇空襲  
警報發令ト同時ニ本島南端方向ニ火花散ルヲ認メタルニ  
作業續行中〇七〇〇頃西北方ヨリ敵機ハ数機ヲ見  
續隊八機ハ二群  
又ハ銃爆ヲ一群ハ見

① 三九

三九

ヨリ突然出現セルコガラ 敵機ハ赤山丸及作業中ノ  
大發船ヲ發見急降下爆轟シ機銃掃射ヲ敵行遂ニ赤山丸  
ヨリ火災ヲ發ス船内勤務者ハ大發救助艇或ハ海中ニ墜ビ  
込ニ退避セルモ又モ之ニ機銃掃射ヲ浴セ敵機ハ一二ノ頃道  
敷次ニ亘リ同方法ヲ以テ反覆銃轟ヲ敵行セリ  
コノ間他隊ヨリ勤務中ナリシ兵員一名戰死一名戰傷ヲ負ヘリ  
3. 戦死傷表附録ノ如シ  
ニ戦線救護ノ状況

1. 部隊衛生部員現地ニ非ザリシヲ以テ独立混成第十五聯隊  
殘留要員軍醫一衛生下士官一衛生兵三竝ニ船舶工兵部隊  
衛生下士官三八度久地港附近掩蔽壕ヲ利用シ他隊患者  
ヲ併セ患者ノ收容ニ任ズ  
2. 第一救急處置ヲ終了後敵機ノ間斷ヲ利用シ兵站自動車ニ  
依リ名護患者療養所ニ收療ス

3. 敵機ノ襲撃間斷ナク且ツ海上救護ナリシタメ意ノ如ク收  
容スルヲ得ズ

三 繃帶所開設ノ状況  
開設セズ

四 衛生材料ノ消費及應用材料ノ使用状況  
拵記事項ナシ

五 業務ニ從事セル人員  
他隊衛生部員救護ニ任ジ自隊衛生部員從事セズ

六 其ノ他參考

1. 海上作業中突襲警報發令セバ直ニ退避セシムルコト肝要ナリ  
2. 海上ニテ攻塵ヲ受ケタル際ハ速カニ海中ニ散開シ機銃掃射ノ  
被害ヲ少カラシムルコト肝要ナリ  
3. 徹底セル救急法ノ教育ヲ必要トス

(編製ノ注意)  
 一 戦闘参加人員ハ戦闘開始ノ時ニ在リテ戦場ニ在リテ戦闘ニ参加スル者ニ限リテ算スルコトナリ  
 二 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 三 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 四 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 五 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 六 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 七 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 八 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 九 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ  
 十 戦場死亡ノ者ハ戦闘参加人員ニ限リテ算スルコトナリ

考	備	生死不明		死傷合計		負傷在隊		負傷後送		隊編帶所死亡		戰場死亡		戦闘参加人員		種類	區別	戦闘員	非戦闘員	計	
		下准士官	將校	下准士官	將校	下准士官	將校	下准士官	將校	下准士官	將校	下准士官	將校	下准士官	將校						
	何レモ把隊勤務者ナリ			二				一													

昭和二年 自一月廿日

戦闘死傷表 昭和二年一月廿日